

## 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<b>《試料・情報の 利用目的及び 利用方法》</b>	<b>●研究の名称</b> 子宮トランスイルミネーターを近赤外線（NIR）モードで視認するロボット支援子宮全摘術の新規手技に関する自施設後方視的研究
	<b>●研究の対象</b> 2020年1月～2025年12月に、当院で良性子宮疾患（子宮筋腫、子宮腺筋症、子宮内膜症、子宮頸部異形成、子宮内膜増殖症）と診断され婦人科ロボット支援子宮全摘術を受けられた方 350名
	<b>●研究の目的</b> 当院では、子宮の手術（子宮全摘術）のときに、手術をより安全に行うための工夫として、腔の奥（腔円蓋部）に入れるカップ状の器具（SecuFix）を使用しています。SecuFixは光る仕組みになっており、この光を利用すると、手術中に「どこを切開するか」が分かりやすくなります。  本研究は、子宮筋腫や子宮腺筋症などの良性子宮疾患に対して行われた子宮全摘術を対象として、SecuFixの光を手術機器の特殊なカメラ（近赤外線：NIRモード）で見えるようにして、手術の目印として活用する方法が、どのように役立つのかを明らかにすることを目的としています。特に、子宮の周りの組織を切る場面や、腔を切開する場面で、目印として使うことで手術が安全に行える可能性があります。  また、この新しい使い方を手術動画で分かりやすく紹介するとともに、当院でこれまで行った手術の記録（手術時間、出血量、合併症の有無など）を調べて、手術の安全性や有用性を確認します。
	<b>●研究の期間</b> 研究機関の長による実施許可日から 2030年12月まで

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：年齢、身長、血液検査データ、MRI 検査データ、手術時間、出血量 など</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 伊藤敏谷</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にご希望をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学  部署名： 産婦人科学講座  担当者： 伊藤敏谷  TEL： 053-435-2309（産婦人科医局）  E-mail： toshitou@gmail.com